

# 伊賀市消防出初式



1月11日、大山田せせらぎ運動公園で、伊賀市消防出初式を開催し、消防職員や消防団員、防火協会や企業の自衛消防隊など、1100人あまりが参加しました。

開催に先立ち内保市長が「市内の消防関係者に集まってもらって、市民参加型の出初式を開催することができました。皆さんの安心安全を守るために協力をお願いします」と訓示しました。

次に通常点検を行いました。通常点検は人員・姿勢・服装の点検を受けるもので、参加した団員は整列し、内保市長と角田副市長の点検を受けました。

優良消防団員の表彰では、長年にわたる消防活動に尽力された方などが表彰を受け、感謝状と賞状が贈られました。

続いて幼年消防クラブが忍ジャーズダンスを披露しました。そろった演技で会場からは拍手が起りました。

また、「マッチやライターは持ちません」「たき火はしません」「火あそびはしません」と防火の誓いを行いました。

そのあと、自主防災組織な

どが初期消火訓練を行いました。訓練用の水消火器やバケツリレーなどで、一斉に水をかけ消火しました。

最後に、消防団員たちによる一斉放水が行われました。

掛け声にあわせて、赤や緑などの色をつけた色放水が行われ、色鮮やかに染まった水が高く吹き上げられました。

また、三重県防災ヘリコプターからの空中放水も行われ、観客からは歓声があがりました。

参加した消防関係者は防災の決意を新たにしました。

## 優良消防団員表彰

### 伊賀市長感謝状

### (退職消防団員)

元上野方面隊 稲森 密浩 他45人

### 三重県消防協会 (感謝状)

元青山方面隊 竹森 邦夫

### 伊賀市消防団長表彰

### (表彰徽章)

副分団長 福山 寿光 他102人

### 三重県消防協会定例表彰

### (功績章)

副分団長 山本 幸一郎 他5人

### (精勤章)

団員 山本 幸宏 他4人

### (表彰徽章)

副分団長 川口 賢 他88人

### 三重県消防協会伊賀支会定例表彰

### (功労章)

副分団長 岡野 栄治 他4人

### (表彰徽章)

副分団長 松山 安利 他105人

### ※敬称略

※紙面の都合上代表者で受章した方



# 平成20年中伊賀市消防本部の火災・救急・救助の概要

## 1. 火災概要

平成20年中における件数は49件で、前年に比べ12件の減少となりました。これは、およそ7日に1件の割合で火災が発生したことになります。

火災種別ごとにその構成比をみると、建物火災25件で全火災の51%と半数を占めています。次いで、車両火災12件で25%、その他火災（道路、空地、土手および河川敷の枯草の火災など）11件で22%、船舶火災1件で2%の順となっています。昨年は林野火災の発生はありませんでした。

出火原因については、車両の故障・事故などが10件、放火・放火の疑いが7件、枯草焼きが6件、こんろが6件、ストーブが4件の順となっています。火災による死者は3人で建物、車両、その他火災でそれぞれ1人発生し、負傷者は6人です。

項目		平成20年	平成19年	増減
火災件数	建物火災	25	33	△8
	林野火災	0	6	△6
	車両火災	12	10	2
	その他火災	11	12	△1
	船舶火災	1	0	1
	合計	49	61	△12
焼損面積	建物火災 (㎡)	3,135	3,373	△238
	林野火災 (a)	0	168	△168
死傷者	焼死者 (人)	3	2	1
	負傷者 (人)	6	5	1
主な原因など	枯草焼き	6	14	△8
	車両の故障・事故など	10	7	3
	放火・放火の疑い	7	7	0
	たばこ	2	5	△3
	ストーブ	4	4	0
	こんろ	6	3	3

建物火災25件のうち、昨年6月1日に義務化になった住宅用火災警報器を設置していて、警報音により火災に早く気づき火災による被害を最小限にとどめた奏効事例が2件あります。住宅用火災警報器の設置がまだのご家庭は、早期の設置をお願いします。



焼損棟数		平成20年	平成19年	増減
建物火災	全焼	18	9	9
	半焼	2	2	0
	部分焼	7	16	△9
	ぼや	15	10	5
	合計	42	37	5
罹災世帯		24	29	△5
罹災人員		75	67	8

## 2. 救急概要

平成20年中における救急出場件数は4,477件であり、前年に比べ528件増加となっています。これは、1日平均約12件出場したことになります。

救急出場件数を事故種別ごとにみると、急病が2,811件で63%と半数以上を占め、次いで一般負傷640件で14%、交通事故497件で11%の順となっています。

搬送人員については4,263人で、前年に比べて374人の増加となりました。これは、管内の住民およそ24人に1人が救急車によって搬送されたこととなります。

救急の概要		平成20年	平成19年	増減
事故種別(件)	火災	7	4	3
	自然災害	0	0	0
	水難	2	1	1
	交通	497	517	△20
	労働災害	104	68	36
	運動競技	18	25	△7
	一般負傷	640	511	129
	加害	20	20	0
	自損行為	47	45	2
	急病	2,811	2,524	287
	その他	331	234	97
	合計	4,477	3,949	528

## 3. 救助概要

平成20年中における救助出場件数は57件であり、前年に比べ1件減少しました。

救助出場件数を事故種別ごとにみると、交通事故が43件で75%を占め、次いで建物などによる事故が4件で7%、水難事故・機械による事故がそれぞれ2件で4%となっています。

救助の概要		平成20年	平成19年	増減
事故種別(件)	火災	0	0	0
	交通事故	43	49	△6
	水難事故	2	2	0
	機械による事故	2	2	0
	建物などによる事故	4	2	2
	その他	6	3	3
	合計	57	58	△1

### 【問い合わせ】